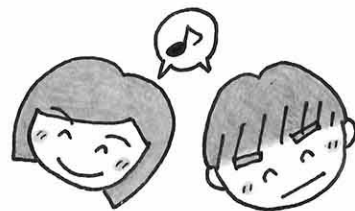


よっ葉だより

2024年
10月7日号
No.808

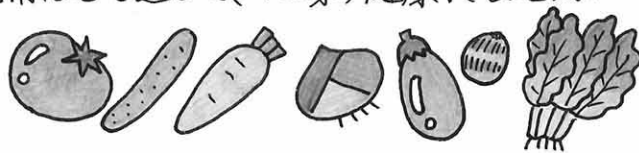
～地産地消～
いのちと健康暮らしを守る
よっ葉生活協同組合

いいものは、みんなに広めたい 秋のおさそいキャンペーン



9月21日(土)～11月20日(水)まで 実施しています!!

「いのちと健康暮らしを守る」よっ葉生協は、地産地消、有機農産物と有機食品の推進、食品添加物の削減、石けんの利用などを通じて、心身の健康にも地球環境にもいい暮らしを提案しています。



よっ葉生協のいいところ

- 「産直提携」の共同購入により、相場に関わらず年間を通じて適正価格でお届けします。
- 人にも環境にもやさしい有機農業を進めています。
- 組合員と生産者協力で生まれたオリジナル商品が充実しています(しょうゆ、みそ、マヨネーズなど)。



大切な商品を元気にお届けします!

よっ葉のよさを、お友だち、ご近所など周りの方に伝え、よっ葉の輪を広げること、誰もが安心して暮らせる社会をつくっていきましょう。



農業体験で生産者と交流♪

<キャンペーン特典>

- ◎組合員割引 おひとり紹介+ご加入につき 2000円お値引き
さらに、2名以上のご紹介は人数に応じて割引券プレゼント
- ◎新規のご加入(個人宅配/2名共同購入で)
 - ➔10週間宅配無料&商品引換券1000円(500円券×2枚)プレゼント
初回から5週間連続のご利用代金15,000円以上で
 - ➔さらに商品引換券1000円(1000円券1枚)プレゼント

☆妊産婦さんには、パックスベビーサンプル(冊子付き)&和氣心あーむ農薬不使用米1kgをプレゼント

☆ご家族に障がいをお持ちの方がいらっしゃる場合、宅配料は全額無料です。



ふれあいまつりで業者さんや生産者さんと交流♪
今年は11月23日(土・祝)
小山総合公園駐車場で開催します!!

【ご紹介用おためしセット】は3種類 ¥1000相当の商品が¥500で!

旬の有機野菜セット(好評!）、人気商品セット、朝食セットの3種類をお試しいただけます。

お申し込みは、よっ葉生協ホームページからどうぞ。

※お試しセットは、組合員さんにご利用いただけません

お友だちにすすめてあげてくださいね!!



—営業所発行ちらし—

地域毎にお届けしています。地域の情報が盛りだくさん!
お友だちをお誘いのうえ、ご参加してみてくださいね!

川俣さんの田んぼ日記④稲刈り編

いよいよ待ちに待った新米の季節・・・。今年の米の状況はどうでしょうか。

8月後半から雨が続き、なかなか稲刈りが出来ず・・・。稲刈りが出来たのは9月4日でした。今年はゲリラ豪雨が多く、稲の倒伏を心配していました。圃場に赴くと一部倒伏は見られましたが、一面に金色の稲穂が垂れ下がり、見事な風景に。田んぼの役割としての1つに景観を守ることが挙げられますが、本当にこの景色を守っていかねばと感じます。

半年間この圃場に足を運び、一番すごいと感じたことは、この圃場は除草剤をかけない・除草機を入れないのに、雑草はほとんど見られなかったこと。雑穀が伸びて稲穂より大きくなっている田んぼも少なくはありません。代掻きや、深水管理の技術に感服しました。もちろん、生物の多さにも驚きました。水生昆虫の多さ、青系イトトンボなど、生活圏内ではなかなか見かけることはありません。生物多様性を実感。現代では虫取りなどあまりしなくなりましたが、様々な昆虫に触れ合うことで、生き物に興味がわき、環境の事を考える良いきっかけとなってくれるでしょう。

川俣さんに、コンバインの説明から始まり、稲刈り→乾燥までの一連の流れを今回教えていただきました。

■刈り取りに必須！コンバイン！

→収穫・脱穀・選別を一台でこなします。刈り取り後、不要な藁を外に吐き出すところは見ていて面白いです。

■反時計回りに圃場を回り刈り取り、籾がたまったらトラックの荷台に載せます。

■この荷台にホースをつなぎ乾燥機に籾を入れていきますが、乾燥機も大きい！ 収穫したばかりの籾の水分量は25%位。これを変質せずに長期保管できるように15%くらいになるまで乾燥させます。

■乾燥後、のげ（枝梗＝しこう）や、草の実を取ったら来年用の種もみが完成です。

■私たちが食べる米は、籾摺りして玄米になります。精米すれば白米として私たちの手に届く流れです。

Q&A

① Q：玄米に籾が残っていますがなんで・・・？

A：籾摺りは米が砕けてしまうことがある為、1回しかかけられません。玄米に籾殻や籾付きのお米が混じってしまう場合があります。多い場合は交換いたしますのでご連絡ください。

② Q：何かの種が入っていますが・・・これはなに？

A：玄米を購入される方から多い問い合わせです。ひえやあわ等の雑穀の種が入ってしまうことがあります。通常、色彩選別機を通し、色により、米と雑穀や斑点米をはじいていきます。しかし、玄米は茶色く雑穀と色が近いことや、斑点が見えづらいことから判別しにくいのです。雑穀は米を研ぐ際に浮いてくるので、はじいていただけたらと思います。また、食べても害はありません。多すぎる場合は交換もさせていただきます。

今後の田んぼは、刈り取りと同時期に耕耘をしていき、来年の田植えに備えるそうです。

次回は種もみの消毒を視察予定（来春）。刈り取りが終わっても、田んぼでの仕事がまだまだ続きます。

今後も報告していきますのでお楽しみに♪

<商品部 間中>

田んぼ日記④稲刈り編
YouTube動画(6分05秒)



「コンバインを開けると中はこんな風になっています！」



今年の米

成熟期の高温によるシラタ（白濁）が混じることがあります。通常通り、もしくは水を少し減らして炊飯して通常通り食べられます。

9月4日(水)

ホットニュース

北関東3県は「子どもの食を大切にしています」
学校給食の地場食材使用率（金額ベース）栃木県が第二位。

「令和5年度学校給食における地場産物及び国産食材の使用割合」が発表され、栃木県は地場食材の使用率が77.7%、国産食材が94.4%でした。

第一位は山口県で地場産87.2%、国産98.0%でした。

茨城県は地場産74.3%、国産90.6%。群馬県は地場産63.0%、国産86.7%。

北関東は、農産物の生産県として恵まれた環境にあります。学校給食への提供は各市町で多くの課題をかかえながらも、農家、食材製造者と、市の学校給食担当と、現場の栄養士、調理師の知恵と工夫ですすめられています。

数多く扱うセンター方式の給食センターと、各学校単位の自校式では、扱う量が違います。日持ちのする根菜類は取り扱いがしやすく、葉物は予定された献立の実施日に合わせなければならず、自校式でも温暖化による気象変動の影響を受けているので、現場の調整はこれからも続きます。

全国の中でも、消費量の多い大阪府は、地場産7.2%、国産87.1%。東京都はそれぞれ8.8%、90.6%ですが、国産の使用量が多く、輸入品に頼っていません。米飯が増え、パンが少なくなっていますが、国産小麦100%使用にはもうひと踏ん張りが必要です。アメリカ、カナダの小麦とブレンドしたものが多くのが現状です。まだまだ国産小麦の量が充分でないことと、パン用の強力粉が少なく、パンの製造に課題があるということです。

輸入小麦には大きい問題があります。収穫直前に刈り取りをしやすくするために小麦に除草剤を撒きます。プレハーベストといい、小麦が生だと機械に絡まってしまうからです。輸出する時には、船の長旅で菌、虫が発生するのを防ぐために、防カビ剤、殺虫剤を散布するポストハーベストを行います。小麦は国の管轄下にあり、統一されて入ってきます。日本は一般的な慣行栽培では、栽培中には化学合成農薬（殺虫剤、殺菌剤）を使いますが、問題になっている除草剤のグリホサート（商品名ラウンドアップ）は使用禁止になっていますし、ポストハーベストも行っていないので、日本の小麦からは除草剤グリホサートは検出されていません。全国的に100%国産小麦に切り替えた県も出てきています。

——子どもにこそ有機食材を——

全国的に学校給食に有機食材を使用して下さいという声が高まっています。政府が2050年までに有機農産物栽培面積を全耕地面積の25%、100万ヘクタールにする計画を出して、各市町でオーガニックビレッジ宣言をして有機農業推進協議会が立ち上がっています。学校給食へ有機農産物使用の補助金使用ができるので、スタートしているところが出ています。まだまだ一部ですが、

地場産食材使用→国産食材使用→地場有機農産物使用、と今までになかった道筋ができています。

一番頑張っているのは有機農家さんです。あちこちでお母さん方の「学校給食に有機農産物を」の声が上がっても、肝心な有機農産物が無い、足りない現状で、有機農家さんに有機農産物を「学校給食」へ届けたい思いが強くなっています。

例えば有機栽培米は年〇〇回、有機栽培野菜は小規模校に提供するなど、市町でも工夫をしています。学校給食への有機食材提供は公共調達の一つとして、作付け計画にも安定性が保たれ、有機栽培にチャレンジしやすくなり、国が進めている有機農業拡大計画が大きく前進します。作付けが少ない東京都区のを、千葉、北関東に多くの注文が来て答えられない状況が続いています。

全国の行政が中心になって「もっと広がれ オーガニック給食！」フォーラムは、11月8日～9日に茨城県常陸大宮市で開催されますが、JAさんが開催の中心になるという全国的に極めて貴重な取り組みです。それぞれの地域のJAさんが有機農業推進に向かっていけるように、よつ葉生協は応援していきます。

（顧問 富居）

⑨学校給食における国産・地場産食材の利用割合

		品目	国産	地場産			品目	国産	地場産
穀物・いも		小麦	40.2	14.2	野		いんげん豆	74.7	8.7
		大豆	69.5	29.4			えんどう類	34.6	5.3
		さつまいも	99.1	46.7			オクラ	100	25.0
		じゃがいも	97.4	18.2			キャベツ	99.9	49.3
		さといも	98.3	47.3			しいたけ	97.3	37.2
畜産物		豚肉	89.5	35.9	菜		大根	99.7	45.1
		鶏肉	99.1	28.1			たまねぎ	99.1	31.0
		牛肉	78.9	26.4			トマト類	52.1	27.4
		チーズ	39.5	0.8			にんじん類	99.7	24.3
		粉乳類	39.8	2.5			はくさい	99.8	38.5
		バター類	88.2	7.7			ピーマン類	79.9	38.5
果物		かんきつ類	70.6	23.7	ブロッコリー	56.3	29.3		
		りんご	96.4	18.2	レタス	100	26.1		

は利用割合が低いもの

文科省「学校給食栄養報告」(20.6)

学校給食における近隣の地場産物及び国産食材の使用割合
(令和5年度)

都道府県名	地場産物	国産食材
福島県	63.7%	88.8%
茨城県	74.3%	90.6%
栃木県	77.7%	94.4%
群馬県	63.0%	86.7%
埼玉県	41.3%	88.3%
千葉県	56.9%	88.8%
東京都	8.8%	90.6%

※金額ベース



那須 よつ葉生協のサークルです!
第2回「畑の横の和蜂学校」
 蜜蝋は日本蜜蜂さんからのプレゼントです
 蜜蝋ラップとディップキャンドルを手づくりしましょう
 日時 10月31日(木) 13:30~15:30頃
 場所 大山田ノンフェール・くらねえ(旧大山田小学校)
 (栃木県那須郡那珂川町大山田下郷955)
 参加費 5000円(講習代、手作りシフォンケーキと飲み物、保
 険代、蜜蝋ラップ材料、蜜蝋キャンドル材料を含みます。)
 内容 ① 蜜蝋ラップ(中・小2枚)をつくります。
 材料(オーガニックコットン/蜜蝋)
 ② 蜜蝋キャンドルをつくります。
 溶かした蜜蝋でディップキャンドル2本をつくります。
 ③ 日本蜜蜂と蜜蝋の講習
 生態と飼育、蜜蜂の話など。
 締切日 10月17日(木) 定員:10名
 申込み・問合せ先
 ノンフェール事務局 相馬心平 TEL 090-3344-7813
 主催 里山和蜂日和
 <持ち物>各自スリッパをご持参ください。

文化イベント情報 ■各イベントのお問い合わせは、
 直接主催者または連絡先をお願いいたします。

第2回 全国オーガニック給食フォーラム
in 常陸大宮
 行政とJAが連携して取り組んできた常陸大宮でJAがオーガ
 ニック給食に果たす役割をテーマとします。オーガニック給食をめ
 ぐる情勢、全国の先進事例など盛りだくさんのフォーラムです。
 11月8日(金) 13:00~17:30
 ◆基調講演:鈴木宣弘氏 堤未果氏
 ◆オーガニック給食を担う各地のJAからの最新報告他
 会場:常陸大宮市文化センター ロゼホール
 参加費:会場・オンライン1000円(サテライト会場あり)
 会場定員:1200名
 ◆交流会 18:30~21:00 定員80名
 11月9日(土) 9:30~12:00
 ◆現地研修会 有機野菜栽培圃場・有機農産物フェア見学
 場所:(株)JA常陸アグリサポート圃場他
 参加費:1000円 定員:60名
 主催・問合せ:常陸大宮市オーガニック給食フォーラム実行委員会
 TEL 0295-55-8072
 メール OrganicSchoolLunchForum.JAPAN@gmail.com

宇都宮
 ●イベント **モモケイタと仲間たちによるアフリカ
 音楽ライブ**
 ●日時 10月27日(日) 13:30開演
 ●場所 みずほの自然の森公園 里山ミュージアム
 ●参加費 ひとり1000円(2歳以下無料)
 ●内容 西アフリカギニア共和国出身(栃木在住)のモモケイ
 タさんと仲間の皆さんによる、ジェンベ(アフリカ太
 鼓)を使った楽しい音楽ライブです。今回は秋空の下、
 屋外での音楽ライブを楽しみましょう!
 ●申込み 宇都宮子ども劇場HPお申込み
 フォーム及び右記QRコード
 ●主催・問合せ NPO法人宇都宮子ども劇場
 TEL028-680-4005 info@ukg.jp

第7回
よつ葉マルシェ
 in 足利
 ~日々の暮らしを丁寧に~
 あなたの好きを見つけに来てください

入場
無料

組合員さんたちを中心とした
 Foods、ハンドメイド、ワークショップ
 リラクゼーション、占い、
 よつ葉でおなじみのメーカーさん etc...
 総勢80を超えるお店が集います

2024年
10月26日(土)10:00~15:00
 あしががフラワーパークプラザ(足利市民プラザ)

栃木県足利市朝倉町264
 主催:よつ葉生活協同組合

素敵な景品が当たる
 空くじなしの抽選会も
 あります

あしががフラワーパーク
 プラザ(足利市民プラザ)

佐野
 ●タイトル **安藤勇寿「少年の日」
 歳時記展**
 ●日時 12月25日(水)まで
 ●会場 安藤勇寿「少年の日」美術館
 (佐野市御神楽町623-1)
 ●問合せ
 TEL 0283-67-1080
 FAX 0283-67-7030
 ※料金、休館日等、詳しくはお問合せください。

除夜の鐘

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(9月4週分)
 ご協力ありがとうございます。
 組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	3,800
震災孤児を支援する募金 (910番)	14,900
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	4,400
合計	23,100

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
 WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。
 一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223
 ☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
 HP <https://yotsubacoop.jp/>
 よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp

QRコード: ホームページ, Facebook, Instagram